

尾瀬敬止 著 ソ聯文化研究家。明治二十一年十一月二十八日京都生
 れ、昭和二十七年一月五日歿（六八才一五五）。筆名他和律、尾瀬及歌
 等。東京外國語學校露語專修科卒。新聞記者を経て、大正十年「露西
 亞藝術」誌主宰、十二年日露藝術協會創設に参劃。戦後ソウエート文
 化協会主宰。

著書『勞農露西亞の文化』（大正十年八月、千白法文館）、『C・C
 ・C・P（サウエート社會主義共和國聯邦）』（他和律名、昭和五年
 四月五日タルス）、『日露文化叢談』（昭和十五年十月一日大阪屋號
 書店）、『ソ聯の自然と生活』（昭和十七年九月、千白南北書園）、
 『ロシア文學史』（昭和二十一年十一月、千白五五書房）日本料望社「學生叢
 書・文化科叢書」）、『ソウエート藝
 術の展望』（昭和二十二年七月五日京
 都・白井書房）、『ソウエート
 映画だ』（昭和二十四年六月十五日、
 再刊）、二十五年四月二十日（朝野書院）、『ソウエート文學史』（昭和二十
 四年七月十五日、二書房）等。



譯書、『マズニツキイ著『自由の一年』（中村、白蟻共譯、大正十一年
 一月十八日日本評論社出版部）、『コンスタンチン・ツリモント作『露詩
 集』日本を歌へる』（大正十一年一月十八日誠文堂書店）、『ピリニヤ
 ーナ作『ソエワン・ダ・タリヤ』（大正十四年十一月十日新潮社「海外
 文學新選」）、『ウラゲーミル・リーデン編『藝術戦線』（大正十五年
 六月一日専業之日本社出版部）、『ヤ・ルナチヤルスキー著『國民教育

の諸問題』(大正十五年十月十一日聚英閣)、
「タレウサンドウ・トル
スタヤ暮」(父の悲劇)「トルストイの陰道と死」(昭和四年十一月十五
日春秋社)、
「サヴェエト詩人選集」(「コズグヅイシヨンスキー詩
集」昭和四年十一月十五日)、
「コエセイニン詩集」(五年二月二十五
日素人社書屋)、
「タ・エロシタイ暮」(母性と社會) (昭和六年十月一
十日ロゴス書院)等。